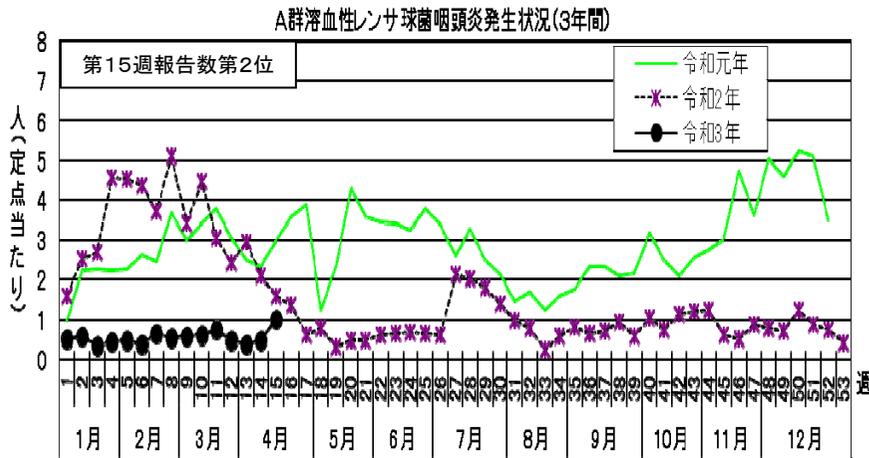
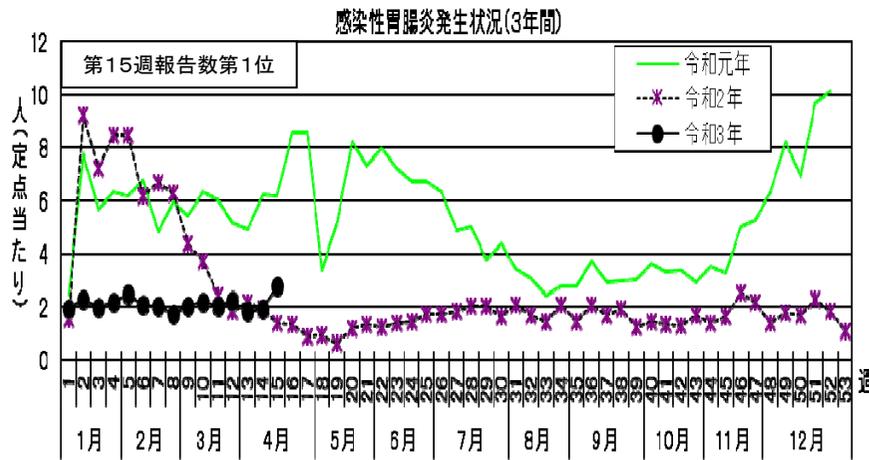


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和3年4月12日（月）～令和3年4月18日（日）〔令和3年第15週〕の感染症発生状況

第15週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) RSウイルス感染症でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.75人と前週（1.89人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.00人と前週（0.47人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は0.53人と前週（0.03人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



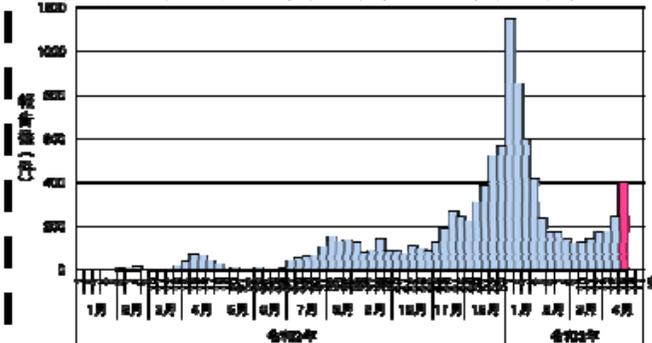
新型コロナウイルス感染症～まん延防止等重点措置実施中～

全国における新型コロナウイルス感染症の報告数は、関西地方を中心に急増しており、神奈川県でも令和3年4月20日～5月11日を目処に、横浜市、川崎市、相模原市を対象にまん延防止等重点措置が実施されています。

川崎市における報告数も、令和3年第15週（4月12日～4月18日）に398件と前週の241件から大幅に増加し、施設などでのクラスターも散見されました。

川崎市においては、令和3年4月24日から75歳以上の方を対象に新型コロナウイルスワクチン接種の予約が開始されます。**まん延防止等重点措置と緊急事態宣言の違い**
 基本的な感染対策とともに、ワクチン接種も検討しましょう。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断週別発生状況(令和2年第1週～令和3年第15週)



	まん延防止等重点措置	緊急事態宣言
目的	特定地域からのまん延を抑えるため	全国的かつ急速なまん延を抑えるため
発令・適用	ステージⅢ相当 感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生	ステージⅣ相当 爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全
対象地域	区画や市町村単位	都道府県単位
措置内容	・時短要請 ・知事の定める区域・業態にみだりに出入りしないことの要請 ・イベント開催制限	・時短要請～休業要請 ・外出自粛要請 ・イベント開催制限～停止
命令違反への罰則	20万円以下の過料	30万円以下の過料